

《episode 3》

私たちの自慢のボート場

本市には、ボート競技者にとって重要なボート場が2カ所あります。佐鳴湖漕艇場と天竜ボート場です。どちらも日本ボート協会によりC級[※]以上と認定されたコースを有しています。市内に2カ所もこのようなボート場があることは、全国的にも珍しく、浜松の魅力の一つとなっています。

※等級は、レーン数や長さ、水深などを勘案し認定されます。全日本級大会および地域予選会で利用されるコースはA・B・C級の上位3等級のみです。

佐 鳴湖漕艇場は、昭和32年に開催された第12回国民体育大会の会場にもなった歴史ある漕艇場です。都市部に近く、近隣の高校や大学のボート部も練習を行い、各大会で好成績を残しています。県内唯一の中学ボート部である入野中学校ボート部も、ここで練習を積み、今年[※]の全日本中学選手権競漕大会では、男女の舵手付きクォドルプルがそれぞれ優勝、男子は総合3位という結果でした。佐鳴湖漕艇場は、ボート競技に燃える学生たちの聖地となっています。



練習に励む学生たち

入野中学校ボート部に聞きました！

佐鳴湖漕艇場は、他の漕艇場と比べ、漕ぐときに重い感触がする水質です。このような環境の中で練習できるので、毎年いい記録を残せるのだと思います。
(男子部長 山口さん・写真左)



ボートをやっていて楽しいときは、自分の成長を感じる時です。練習は大変ですが、仲間と励まし合い共に達成感を味わえることが、ボートの魅力です。
(女子部長 橋本さん・写真右)



自然に囲まれたボート場

天 竜ボート場は、全国屈指の直線2,000m漕艇場です。ここで開催される全国高等学校選抜ボート大会は、高校生の大会では珍しい2,000m競漕で行われ、「ボートの甲子園」とも呼ばれています。天竜ボート場からは世界へ躍進する選手が多く輩出されており、平成16年のアテネオリンピックでは、かつてこの選抜大会で優勝した内山佳保里選手(旧二俣高校出身)が、ボート競技で活躍しました。



選抜大会では熱い戦いが繰り広げられる

